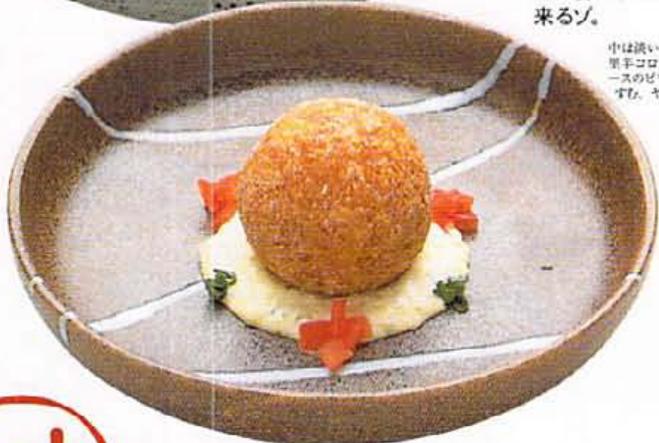


満腹食べても怖くない
敷居は低く、味わい高く



い

四条大橋の東をぐっと身近にしてくれたカジュアル祇園の先駆けながら、舞妓さんご晶屑のしつとりムードが味わえるダディーズ・デポももうすぐ満5歳。始発待ちの時刻までしっかり寝してくれるのは、素材の持ち味重視主義プラス仕込みでのひと手間が効いた、手抜きナシの創作料理。「CFを見た!」の一言でウレシイ特典も付いて来るゾ。

中は淡いピンク色の、明太子の卵手コロッケ650円。しょう油ペースのゼリ辛ソースにピーズがすすむ。ヤキアタのゼリゼリ700円

は

海が呼んでる
満点リゾートスタイル

クタクとした肌触りが気持ちいいシャツは涼しげなルックスもナイス4900円。たっぷりフレアアの巻きスカート6800円。ブルメリアの涼いつラワープリントは年代モノならではの味。

新卒極
柄染師

KAHALA



スタッフ曰く「定番からワケ分かんるのまで」「ただキレイめのユニセックスが身上」。そんな米産ユーズド服がごちゃリビシめく「KAHALA」。ヴィンテージ生地のリメイクなどひととけもある蔵出しモノ、アロハやフレアスカートなどリゾート系アイテムが強い。強い!

い Daddy's Depot ダディーズ・デポ



■京都市橋下通四條上10m タップビル4F
☎075-525-2908 ●18:00~翌5:00 (L.O.翌4:00)
日祝~翌1:00 (L.O.24:00) / 第2日・月休
平均予算3500円

ろ Rote Rose ローテ・ローゼ



■京都市北区上賀茂松本町38北山ランドアートF
☎075-706-1555 ●11:00~20:00 / 水休

は KAHALA カハラ



■京都市中京区新嘉極通南条下ル東側町520
☎075-213-7778
●11:00~20:30 / 無休

に 華めぐり はなめぐり



■京都市中京区先斗町三条下ル二丁目若松町141-12
☎075-213-5678 (予約がセンター)
●17:00~24:00 (L.O.23:00) 川床 (5月~9月) 17:00~23:00 (L.O.22:00)
※5、9月中のみ12:00~15:00 (L.O.14:00) も居寝/水休 平均予算4000円

ゲストに魔法をかけそうな小粋なワイン。シルクのボレロつきのマニード。レースのモチーフが胸元についたAラインドレス。レンタルプラスは29800円、139000円、168000円/173種類。レンタル日数の制限がないのも有難い話題



ろ

大切な日のための
私の専属デザイナー!

デザイナーが直々に接客するローテ・ローゼ。だからドレスの素材やディテールへの細かい希望もキッチリ叶う。大量生産では作り得ない個性派一品モノのドレスは、フルオーダーでのレンタルや買取もOK。レンタル前には必ずファスナーを付け替えたりと、コンディションへの心配りも抜群。

ひょうたんから
ゴマ!

Here goes!
We lead you the latest information
that you've never expected to get.
It's "Great Shop Respect".

2000 GSR

に

夏が来れば憧れる
川床デビューを
叶えよう

ハモや小ネタを土鍋で煮出す香蒸しをメインに、あさり中華の川床コースは全9品で5000円(7000円コースもあり)。川床30席は京都初の振りごたへ式で、正座のツラさから足を開放

先斗町
華めぐり



鴨川沿いにびっしり並んだ納涼川床。「風流え」と憧れつつも「高そう、コワイ」と後ずさったアナタに吉報。昨秋開店した先斗町・京風中華の「華めぐり」が初めての夏に席料、サービス料一切ノン!で床デビュー。夜でも5000円~だからこれなら手が届くよね。

こわいこと あらん 「祇園」。

まずは相手を知り、己を知り……。
もう少し深く関わりたい。
そして祇園は目の前に。

辻々に目線ビシバシ。
それが祇園ちゅう街。

「それは絶対あらしまへん。そんな話はすぐまわる。」
「アキラたから船」の主人の即答。問いはこう。「お昼
食べに来て、グチこぼす舞妓さんは？」。思えば無粋な
質問だった。反省している。しょもないグチは、言うた
らアカン、のである。そこいらのOしさんとはいや、いや、Oし蔑視ではなく、世界の話し。

「四条大橋渡るべからずの令」。誰が言い出したかは
定かではない。一年目の同期の舞妓同士で四条大橋を渡
ってはならない。半人前は鴨川の結果を破ってはならな
い、というおふれだ。この禁を破るものなら、おウチ
〔置屋〕という表現は祇園ではあまり喜ばれない〕に帰
る頃には既にバレており、おメダマを食らう。曰く、
「ホンマに知ってはるんえ、不思議やわあ」。

「舞妓がお座敷に出る」。思えば15かそこらで酒の席
に仕事に行く。これは凄いな。この舞妓がシレットと
まかり通る秘密は何か。彼女たちを守る家、保護者であ
る。この存在があるから成り立つ。至る所に監視の目が
ある街、それが祇園と言ってもいいだろう。
お店も同じ。「厳しい目があるさかい。集中してな、
でけしまへん」。

よう使うけど、そもそも
「見」って何やのん？

「祇園」という言葉とセット。「一見はんお断り」。店
を訪れて最初に食らう一言が「どちらハンドとしたや
ろ？」。店に来た人間に「あんた誰？」である。ンな殺
生な。「あなたハンのご紹介としたやろ？」。何故に紹介
がなければナランのか？問題は、その本意。味の好み
も酒の好みも熟知した「お馴染みはん」。その向こうに
いる「お馴染みはんのお連れはん」、そのまたお連れ
のお連れはん……。口コミの論理、そのココロを解けばよい。
敵ならぬ相手を知り、己を知ればこれ百戦危うか
らず。お客一人ひとりの好みまでも把握し、提供す
る。突き詰めたもてなしの為の機構。

お茶屋遊びに現金払いは無粋の極み。「おおきに」の
挨拶一発で退店すれば、後からちゃんと請求書が送られ
てくる。もちろんカードを切ったわけでもない。所在の
はつきりした、支払能力のある者のみが許される。氏素
性の知れた者のみを選別する、セキユリテイ機能。

言ってみや「ファイアウォール」。危機管理能力
である。店を守るために必要不可欠な厳しい目。街
が持つ悠久の知恵。それを知ることが、相手を知る
ことになる。